



稲高だより

インターハイ特別号

静岡県立稲取高等学校

令和3年6月9日

第3号(通算13号)

まこと いっくしみ つとめる
「誠 愛 力」

男子バレーボール部 全国大会常連校と互角の戦い



インターハイ東部大会

会場：御殿場南高校 5月8日-9日

1回戦 稲取2-0誠恵

2回戦 稲取2-1沼津西

3回戦 稲取0-2飛龍

順位決定戦

第1試合 稲取2-0沼津城北

第2試合 稲取0-2葦山

(東部6位 県大会出場)

インターハイ静岡県大会

会場：静岡市立高校 5月22日

1回戦 稲取2-0静岡農業

2回戦 稲取1-2浜松日体(ベスト16)

33HR 小澤 優生(下田中学校出身)

僕達男子バレー部は、実績のある選手が集う県トップレベルの私立高校と渡り合い、勝利することを目標に、日々練習に取り組んできました。選手全員で考えながらよくコミュニケーションを取って、練習をより良いものにしようと工夫してきました。身長が低くても戦える体づくり、真骨頂である粘り強さと精神力を、西尾先生の熱い指導のもと鍛え上げました。

インターハイ東部予選は順調に勝ち上がり、県大会に出場を決めました。県大会2回戦では、西部1位の浜松日体と戦

いました。まさに、私たちが目標としていた県トップレベルの私立強豪校です。練習で積み上げてきたものを全員が存分に発揮し、稲取高校らしい勢いがあるバレーボールができました。フルセットの末負けてしまいましたが、全国レベルのチームから1セットを取って互角に渡り合うことができました。

この3年間、辛かったこともあったけど、乗り越えられたのは、親、チームメイト、顧問の西尾先生、副顧問の伏見先生、元副顧問の斎藤先生の支えのおかげです。僕はこんな最高のチームのキャプテンをやらせてもらえて良かったです。

レスリング部

高校からレスリングを始めた選手も

試合を通して大きく成長

インターハイ静岡県大会

会場：焼津水産高校 5月29日-30日

60kg級 長田 悠空・中山 力男 出場

80kg級 大生 咲耶 出場

92kg級 宮内 悠作 出場

22HR 大生 咲耶(河津中学校出身)

インターハイ県予選は、不本意な結果となってしまいました。この結果をふまえて、自分たちの練習の質をあげなければいけないと感じました。

今後は、部長として、部員をひっぱっていけるように精いっぱい頑張っていきたいと思っています。そのために、普段の練習から自分自身を限界まで追い込み、他の部員の手本になるようにしていきたいです。



卓球部 県大会まであと1勝の健闘

インターハイ東部大会

会場：沼津市民体育館等 5月3日

1回戦 (不戦勝)

2回戦 稲取3-1 暁秀

3回戦 日大三島3-0 稲取 (3回戦敗退)

9位決定戦 稲取3-2 伊豆中央

33HR 日吉 佳 (熱川中学校出身)

卓球部は、3年生4人、2年生1人、1年生4人で活動しています。部員皆が仲良く、熱心に練習に取り組んできました。練習試合を通して改善点を見つけ修正するなど、高い意識を持ち日々の練習を実践してきました。インターハイ県大会出場を目標に、3年間頑張ってきました。



インターハイ東部予選では上位に入賞できず、残念ながら県大会へ出場することはできませんでした。しかし、一致団結してチームとして最高の試合ができたと思います。

女子バスケットボール部 強豪校相手にもてる力を出し切る

インターハイ東部大会

会場：沼津東高校・伊東高校 4月24日-25日

予選Dリーグ リーグ1勝2敗 3位 (予選敗退)

稲取 45-86 富士東

稲取 43-51 富岳館

稲取 67-47 加藤学園暁秀

31HR 上島 涼巴 (稲取中学校出身)

稲高バスケは、中学のときよりも、もっと頭を使うし、体力も技術もさらに必要でした。体力面でも精神面でも辛くなるのが沢山ありましたが、その度にチームのみんなが励まし支えてくれました。チームのみんなには感謝しています。

この最高のチームをつくってくれた顧問・副顧問の先生方にも感謝しています。毎日休みなく私たちのために、熱く指導してくれました。厳しい練習の中に、楽しい環境をつくってくれたのも顧問の先生でした。

最後のインターハイは東部大会で敗れてしまい、すごく悔しい結果になってしまいました。熱心に指導してくれた顧問の先生方の期待に応えられなかったことが何より悔しいです。

だけどこのような悔しい思いをするのも、3年間、みんなで頑張ってきた証だと思います。この気持ちは、忘れずに大切にしていきたいです。



女子バレーボール部

3年生一人でも、 チームワークで戦い抜く

インターハイ東部大会

会場：沼津西高等学校 5月8日

1回戦 稲取2-0 沼津城北

2回戦 稲取1-2 星陵

33HR 長池 莉緒 (下田中学校)

インターハイ東部ベスト8以上で県大会出場を目標に頑張ってきました。しかし残念ながら、2回戦で敗退してしまいました。インターハイの会場の熱気は、今までのどの大会よりも凄いものでした。今でも思い出します。

この3年間いろいろなことがありました。部員が少ないという問題、夏の厳しい練習、仲間ともめたこともありましたが、でも辞めなくてよかったです。最後



の試合は少し悔いがあるけれど、稲高女バレーで終われたことには感謝しかありません。みんな、ありがとう。

陸上部 日々の練習の成果発揮でベスト記録連発

インターハイ東部大会

会場：愛鷹陸上競技場 4月29日-5月1日

男子5000m競歩	小澤 旭永	5位
男子砲丸投	鳥澤 快斗	5位
女子100mハードル	生井 志佳	6位
女子5000m競歩	土屋 聖吏葉	6位
女子やり投	土屋 楓蘭	9位

インターハイ静岡県大会

会場：エコパ運動公園 5月20日-5月22日

男子5000m競歩	小澤 旭永	10位
男子砲丸投	鳥澤 快斗	15位
女子100mハードル	生井 志佳	出場
女子5000m競歩	土屋 聖吏葉	4位(東海大会)
女子やり投	土屋 楓蘭	24位



新体操部 団体・個人で東海大会出場権を獲得

インターハイ静岡県大会

会場：草薙体育館 5月15日

団体 2位(東海大会出場)

外岡 空・山本 大翔・野田 洸平
高島 唯斗・高野 翔・濱田 柔誠
名城 詩音・山本 悠斗

個人

山本 大翔 4位(東海大会出場)
外岡 空 5位
野田 洸平 6位

33HR 生井 志佳(対島中学校出身)

私たち陸上部は、県大会・東海大会を目指し、毎日厳しい練習に向き合ってきました。陸上は、ほかのスポーツとは違い、一瞬で終わってしまう種目や、回数が決まっている種目などがあります。失敗が許されない状況の中で、自分のベストを尽くす競技です。稲高陸上部の仲間は日々切磋琢磨し、皆で辛い練習を乗り越え、体力と精神力を鍛えてきました。

インターハイ東部予選では、みんなが今までやってきた練習の成果を発揮することができました。マネージャーや選手同士のサポートのおかげで、皆が自己ベストを更新することができました。その中から、5人の選手が県大会出場を決めることができました。

インターハイ静岡県大会では、東部予選よりも良い記録が出た選手もいましたが、うまく力を発揮できなかった仲間もいました。23HRの土屋聖吏葉さんが、女子の競歩で4位に入賞し、東海大会への出場権を獲得しました。

私たちがここまで成長できたのは顧問の下山先生が熱心な指導、副顧問の石塚先生の様々なサポート、両親・周りの人の応援があったおかげです。応援してくれた方々、本当にありがとうございました。



33HR 山本 大翔(稲取中学校出身)

僕達男子新体操部は、選手13人とマネージャー7人で県大会優勝に向けて日々練習を積み重ねていました。

男子新体操は、3分間の団体種目と1分半間の個人種目があります。どちらも1度しか演技ができず、それによって順位が決まる競技です。特に、団体演技では、高いレベルで6人の動きを揃えなければなりません。僕達は、何度も何度も反復練習で動きを揃えていきました。お互いに意見を出し合いながら、完成へと工夫をしていきました。

県大会では、惜しくもライバル校である島田工業高校に負けてしまい準優勝となりました。目標であった優勝はできませんでしたが、これまで練習してきた成果を全て出すことが出来たことには満足しています。東海大会への出場権は獲得できたので、リベンジしたいです。

東海大会に向けて

(三重県 6月20日—21日)

●5000m競歩

23HR 土屋 聖吏葉 (下田中学校卒業)



県大会で4位に入賞し東海大会へ出場することとなりました。みなさんの沢山の応援のおかげです。ありがとうございます。

私は800mと1500mの中距離の選手でした。下山先生から、フォームの改善を目的に、競歩を練習してみないかというアドバイスをいただきました。競歩を練習してみると、その競技の深さと面白さにはまってしまう。これをきっかけに、私は5000m競歩に出場するようになりました。

県大会では、上位入賞は難しいかなと思っていたので緊張しませんでした。自己ベストは出したいとは思っていました。最下位にならないければいいぐらいの気持ちで大会に挑みました。

レースが始まりました。競歩は駆け引きの競技でもあります。スタート直ぐに飛ばす選手はいませんでした。私は、ひとつのかたまりの後方に構えていました。レースが中盤に差し掛かったときに、下山先生と目が合いました。下山先生は、「スピードをあげて前の選手を抜け！」と目で訴えていました。私は、下山先生の指示通りスピードをあげて前の選手を抜きました。スピードを上げたことでバテるかなと不安でしたが、思ったほど疲れていなかったの、いけるかもと思いました。

順位が5位まで上がったときに、また下山先生と目が合いました。「あと一人抜けば東海大会だ、頑張れ。」と目で言っているのが分かりました。前の選手はなかなか抜かすことができませんでした。ただ諦めることなく、ひたむきに前の選手の背中についていきました。前の選手は、フォームが乱れて失格となり、私は4位入賞で、東海大会への出場権を獲得できました。

ここまでこれたのは、たくさんの指導して下さった下山先生や、いつも一緒に練習してくれた陸上部の仲間や、沢山の応援してくれたマネージャー、大会ごとに応援メッセージをくれた友達、だれよりも沢山の応援してくれる家族のおかげです。東海大会まであと少しですが、自己ベストを出して少しでも上位に入賞できるように、準備したいです。今回は、本当にたくさんの応援ありがとうございました。

●新体操部 (個人、団体)

33HR 山本 大翔 (稲取中学校出身)

私たち新体操部は、静岡県大会を経て、団体と個人でインターハイ東海大会へ出場することとなりました。

東海大会では、更に完成度の高い演技を行うことを目標としています。東海大会は、県大会上に多くの高校と戦うこととなります。それだけでなく、演技のレベルも高いです。東海大会で勝つためには、とにかくミスをしたくない演技が重要となります。ひとつのミスが、順位を大きく左右します。東海大会まで、あと2週間となりましたが、一人一人がミスしないように意識が出来る練習をしていきたいと思っています。インターハイ東海大会へ向けて、僕達男子新体操部は更に細かい練習をしていかなければなりません。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、練習ができない期間がありました。練習ができないこと

で、思うように行かない時期もありました。それを乗り越えて東海大会に出場できることをとてもうれしく思います。

私たちが東海大会へ出場できるのは、大下コーチやマネージャー、平井先生、そして家族のサポートや指導のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。皆さんの期待にこたえられるように、精いっぱい演技していきたいです。東海大会の応援もお願いします！

